

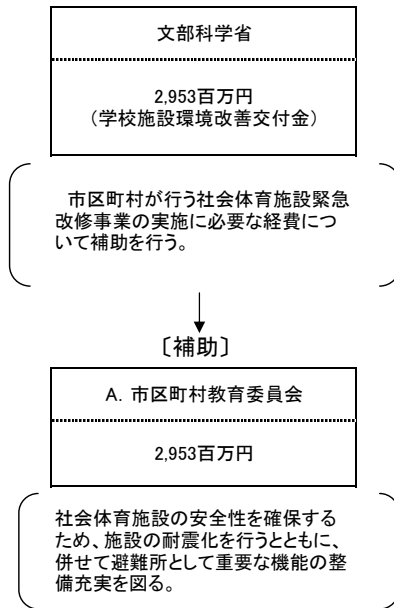
平成23年行政事業レビューシート

(文部科学省)

事業名	社会体育施設緊急改修事業	担当部局庁	スポーツ・青少年局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成24年度	担当課室	スポーツ・青少年企画課	スポーツ・青少年企画課長 今里 謙			
会計区分	一般会計	施策名	XII-2 生涯スポーツ社会の実現				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	義務教育諸学校等の施設費 の国庫負担等に関する法律	関係する計画、 通知等	スポーツ基本法 (平成23年6月24日公布)				
事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内)	多くの住民が日常的にスポーツを楽しむ場であるとともに、災害時には地域住民の避難所となる社会体育施設の安全性を確保するため、緊急の課題である施設の耐震改修を促進するとともに、併せて避難所として重要な機能の整備充実を図る。						
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	市区町村教育委員会が実施する公立社会体育施設の耐震改修事業等の施設整備が円滑に進むよう、自治体の事業計画をふまえて必要な予算を確保し、国庫補助を行う。〔補助割合：1/3〕						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・ 執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予算 の 状 況	当初予算					2,953
		補正予算					
		繰越し等					
		計					2,953
		執行額					
	執行率 (%)						
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	社会体育施設の耐震化及び防災機能強化を図ることを目的としており、成果目標等を数値で定量化することは困難。	成果実績					
		達成度	%				
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	24年度活動見込
	①耐震化事業の実施設数 ①防災機能強化事業の実施設数	活動実績 (当初見込み)	-	-	-	-	①100か所 ②100か所
単位当たり コスト	①26,200千円/1か所あたり ②3,330千円/1か所あたり	算出根拠	単位当たりコスト ①平成24年度要求額(2,620,000千円)/箇所数(100か所) ②平成24年度要求額(333,000千円)/箇所数(100か所)				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	施設整備費	-	2,953				
	計	-	2,953				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・用途	－	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	－	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>・今回の東日本大震災においては、多くの社会体育施設が被災しており、被災を免れた社会体育施設が避難所として活用されていることから、施設の安全確保、防災機能の強化の観点から本事業案を作成しており、既存事業との重複がないことを確認している。</p> <p>・東日本大震災復興構想会議の提言のキーワードが「減災」であるように、万一の災害の際の被害を最小限にすることは重要であり、施設の耐震化はその「減災」の考え方にかなうものであり、効果的な事業である。</p> <p>・消防庁の調査によれば、地方公共団体が設置する体育館のうち耐震化されているものが全体の6割強であり、本事業により社会体育施設の耐震化の促進に寄与するものである。</p> <p>・本事業は、社会体育施設利用者の安全確保のための耐震化と併せて災害時の避難所として重要な機能の整備充実に資するものであり、必要不可欠な事業である。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
		<p>本事業は、定量的に成果目標を立てることは困難であるが、多くの住民が日常的に利用し、災害時の避難場所ともなる社会体育施設の耐震化は緊急性が高く、広く国民のニーズに応える事業である。</p> <p>事業効果や既存事業との重複も精査されており、当省の事業として実施することが必要と認められる。</p>	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※当該資金の流れは、予算積算場において想定される資金の流れを記載したものであり、実際の資金の流れとは異なる可能性がある。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
施設整備費	社会体育施設緊急改修事業	2,653			
計		2,653	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0